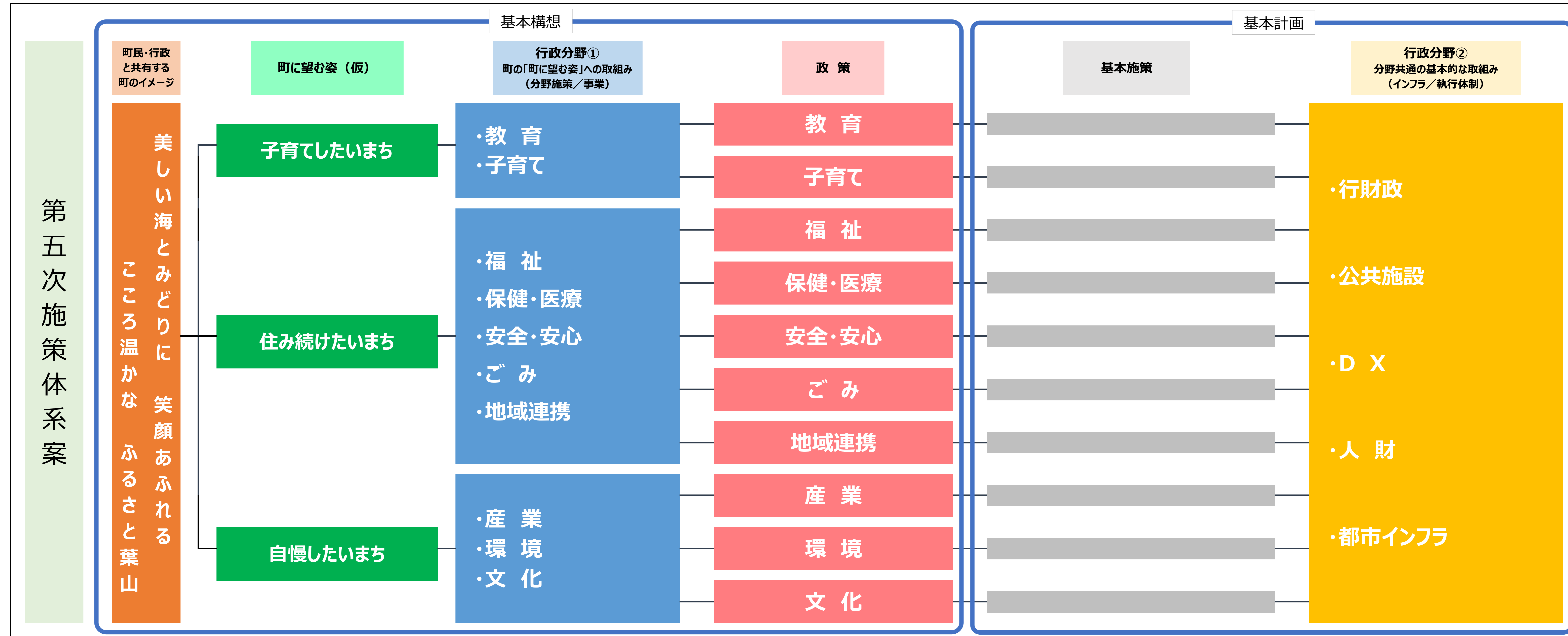
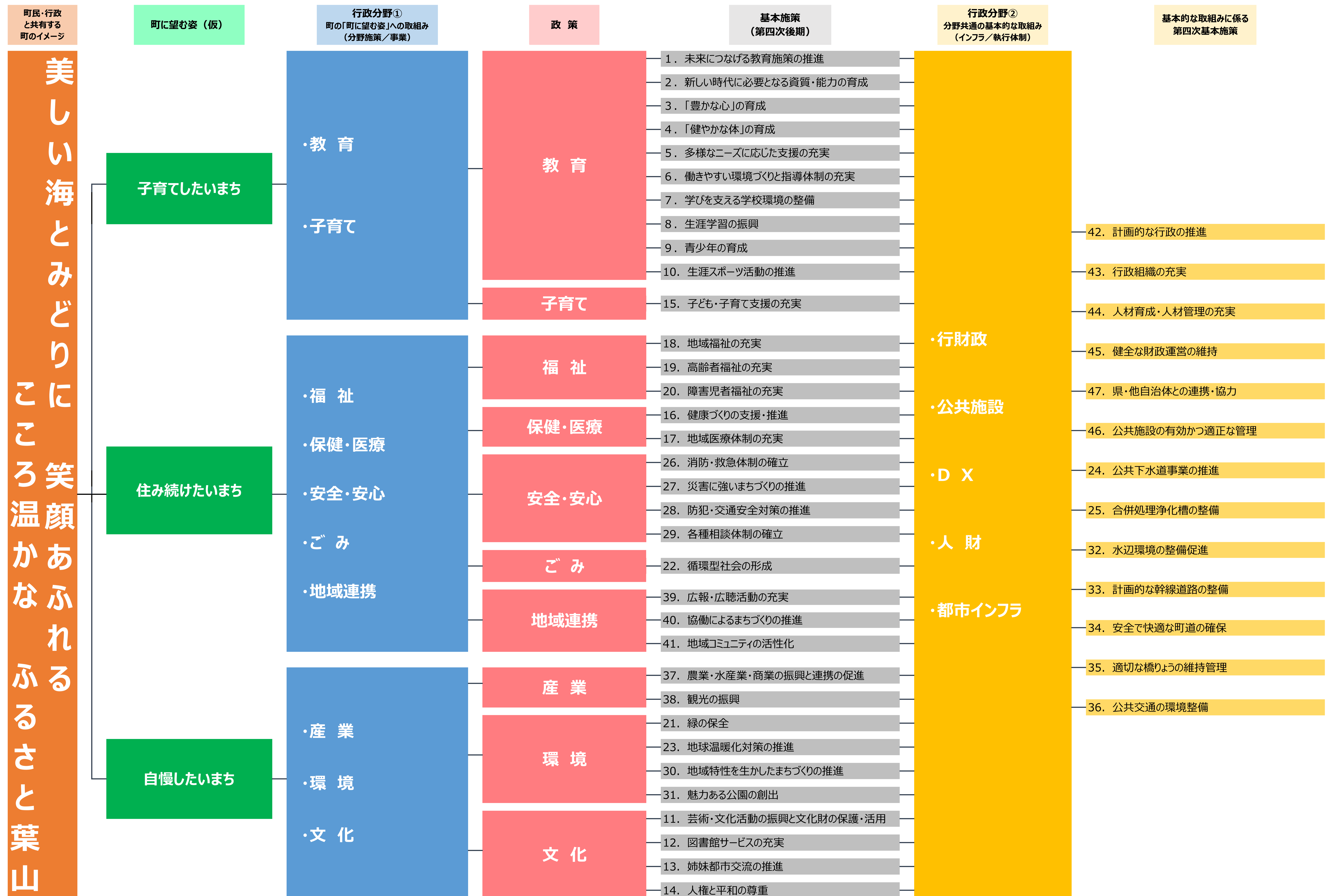


施策の体系比較

参考資料 2
 総合計画特別委員会
 政策課
 令和5年12月5日



施策の体系案（第四次後期基本施策の紐づけ）



基本計画 レイアウト案

住み続けたいまち

福祉

第四次総合計画における
「基本目標」

基本施策

第四次総合計画における
「基本施策」

- 地域福祉の充実
- 高齢者福祉の充実
- 障害児者福祉の充実

政策名：一人ひとりが大切にされ自立し、健康で生き生きと暮らしているまち

政策の説明

現状と課題

基本目標 4 一人ひとりが大切にされ、自立し、健康で生き生きと暮らしているまち

※関連する個別計画は、159ページ

施策分野⑥ 福祉
【将来像】 支え合いによって、すべての人が安心して暮らしている

基本施策 18 地域福祉の充実

基本施策がめざす姿
○ 子ども、高齢者、障害者など地域に暮らすだれもが、孤立することなく、日頃から、相互に支え合って暮らしています。

まちづくり指標

指標名	現状値 (令和元年度)	めざそう値 (令和6年度)	備考
小地域福祉活動推進組織*数	5団体	8団体	
ふれあいいきいきサロン* 団体数	17団体	19団体	
社会福祉ボランティア団体数	48団体	60団体	

現状と課題

- 日々の生活で困りに直面した時、まずは個人や家庭で解決にあたる「自助」、それが難しい時は地域の身近な人たちで助け合っていく「共助」が生活の基本です。
- 子育てや介護のように以前は「自助」や「共助」で対応していたものであっても、少子高齢化や核家族化の進展や生活様式の変化等により、行政が「公助」として関与するようになったものもあります。
- 地域の生活課題を解決していくためには、地域で育まれてきた「自助・共助」による支え合い・助け合いの力を強化し、「公助」との両輪で支援が必要な人を支えていくことが、いつまでも住みよい町であり続けるためには欠かせません。

基本方針

○ 町民一人ひとりと、町内（自治）会などの地域団体、ボランティア団体、社会福祉協議会など各種組織・団体、さらには行政機関が連携し、みんなで支え合う地域福祉を推進していきます。

具体的な取り組み


単位施策 18-01 身近な地域での支え合い活動の拡大
東日本大震災等の災害により、地域で支え合うことの重要性が再認識される中、日頃からのあいさつ・声かけ、近所づきあい、地域での繋がりを深めるとともに、町内（自治）会など地域団体を主体とした「小地域福祉活動推進組織」を設置し、地域福祉を推進します。

単位施策 18-02 福祉意識の啓発とボランティアへの参加の拡大
福祉意識の啓発を強化するとともに、ボランティアへの参加の拡大を働きかけます。

単位施策 18-03 地域福祉の推進体制の強化
地域福祉の主要な推進主体である「社会福祉協議会」とともに、「葉山町地域福祉推進プラン」などをもとに、「民生委員児童委員協議会」、町内（自治）会、「ボランティア連絡協議会」、老人クラブなど地域の各種団体と連携し、地域福祉を推進する体制の強化を図ります。また、地域福祉活動に参加する担い手の発掘と育成を行います。

協働でできること

- 町民や福祉団体・組織等は、自主的に地域福祉活動を推進し、町は、その活動が発展していくよう支援します。
- 町は、「社会福祉協議会」と協働で、引き続き民間の空き家等を活用した福祉活動の場の創設のため、空き家所有者に働きかけます。



地域で行われているサロン活動

第四次総合計画における
「単位施策」に該当する
各事務事業

分野に関連する主な個別計画

分野に関連する事業